

NPO法人徳島県有機農産物認証協会機関誌

とくしま オーガニック情報

第12号

徳島市かちどき橋1丁目41番地
徳島県林業センター4階
徳島県農業会議内
TEL 088-655-8368
FAX 088-655-8364
<http://www.tokukaigi.or.jp/youki/>
E-mail ninsho@tokukaigi.or.jp

今年度認定された事業者の紹介

那賀郡那賀町木頭 特定非営利活動法人 里業ランド木頭

徳島県南西部に位置する那賀町の山間部、木頭地域は柚子で知られています。私たち里業ランド木頭では、過去10年以上循環型農業の指導と農薬や化学肥料を使用しない農法を推進し、この度、会員数約80名のうち4名が有機JAS認証を取得しました。その他の生産者は、とくしま安²農産物(安²GAP)認証(特別栽培農産物)を取得し、いずれも農薬や化学肥料を使用せず栽培しています。

有機農産物は、農法が環境にやさしいことや、化学物質を使用していない安心感、そして自然の持つおいしさをイメージさせ、高い付加価値を持つためそこに嘘は許されません。過疎化と高齢化の進む地域において、次なる農業は量よりも質しかないと社会的に付加価値の高い有機栽培を推進してきました。

生産者の健康と地域の環境を保ち、地域企業との連携の中で魅力ある加工製品を製造販売し、持続可能な経済活動につながるよう有機農業を核に、地域活性化に結び付けて行きたいと考えています。

名西郡神山町 中谷 秀久さん

中谷秀久(51歳)さんは、県下有数のスダチの生産を誇る神山町で、勤めていた会社を辞め父親の後を継ぎ、昨年7月に有機認定を受け約20aのスダチの栽培に取り組んでいます。すだちは、酢として直接口に入れることから、消費者には農薬や化学肥料を使用しない有機栽培による“こだわり”の商品を提供し、顧客の確保を図り安定的な生産と供給を図ることにしました。

また、中谷さんは、民家を利用した料理店も経営しており、近くには神山町の観光スポットの一つである「雨乞いの滝」があります。

1年間の活動記録

●理事会・総会

- 平成24年5月21日(午前)に第16回理事会を開き、総会議案を審議しました。
- 平成24年5月21日(午後)に第12回通常総会を開き、①平成23年度の事業報告及び収支決算、②平成24年度事業計画及び収支予算について決定しました。出席者42名(委任状含む)でした。
- 平成24年7月24日(午前)に第17回理事会を開き、ISO/IEC17065へ対応するため、業務規程及び諸規定の変更について審議しました。

●生産行程管理担当者等講習会・格付担当者等講習会

- 平成24年7月19日に生産行程管理担当者等講習会及び格付担当者等講習会を開きました。受講及び修了者は8名でした。

●検査員・判定員・判定委員研修会

- 平成24年7月5日から9月19日の間に8回に渡り新たな検査員のための研修を行いました。
- 平成24年12月22日に検査員・判定員研修会を開催し、現地検査の適正な実施について研修しました。
- 平成24年10月11・12日及び平成25年1月23日に農林水産省（委託事業）が行う有機JAS検査員研修及び判定員研修を3名が受講しました。

●有機検査

平成24年度は次のとおり25回で30件の有機検査を行いました。

検査年月日	検査種別	件数	検査場所	品目
平成24年4月19日	有機農産物生産行程管理者	1件	那賀郡那賀町	ゆず
平成24年4月23日	有機加工食品生産行程管理者	1件	阿波市吉野町	乾燥麴、粉末乾燥麴、 α 化米
平成24年4月27日	有機加工食品生産行程管理者	1件	名西郡石井町	そば米、そば粉
平成24年5月2日	有機加工食品生産行程管理者	1件	美馬郡つるぎ町	こんにゃく
平成24年6月13日	有機加工食品生産行程管理者	1件	勝浦郡勝浦町	乾燥納豆、粉末納豆、焙煎納豆、桑の葉納豆
平成24年6月13日	有機加工食品小分け業者	1件	勝浦郡勝浦町	豆乳ティーバッグ、有機桑茶
平成24年6月15日	有機農産物生産行程管理者	1件	名西郡神山町	すだち
平成24年6月30日	有機農産物生産行程管理者	2件	美馬市木屋平	ゆず
平成24年8月6日	有機農産物生産行程管理者	3件	美馬市木屋平	ゆず
平成24年8月8日	有機加工食品生産行程管理者	1件	勝浦郡上勝町	すだち酢、ゆず酢・ゆこう酢及びその皮、晩茶
平成24年8月8日	有機農産物生産行程管理者	1件	勝浦郡上勝町	すだち、ゆず、ゆこう、有機茶
平成24年8月23日	有機農産物生産行程管理者	1件	板野郡板野町	レンコン
平成24年9月6日	有機加工食品生産行程管理者	1件	勝浦郡勝浦町	すだち酢、ゆこう酢、ゆず酢
平成24年9月28日	有機農産物生産行程管理者	1件	阿南市那賀川町	黒米、コシヒカリ、徳ぼん、まま徳、トマト
平成24年10月5日	有機農産物生産行程管理者	2件	板野郡藍住町	洋人参
平成24年10月11日	有機農産物生産行程管理者	1件	美馬市木屋平	ゆず
平成24年10月13日	有機農産物生産行程管理者	2件	美馬市木屋平	ゆず
平成24年11月7日	有機加工食品生産行程管理者	1件	美馬市木屋平	ゆず酢
平成24年11月21日	有機加工食品生産行程管理者	1件	吉野川市鴨島町	すだち・ゆこう・ゆず清涼飲料、ノンジュース
平成24年11月26日	有機加工食品生産行程管理者	1件	板野郡板野町	有機レモン果汁
平成25年1月22日	有機農産物生産行程管理者	1件	阿波市阿波町	米
平成25年1月23日	有機農産物生産行程管理者	1件	勝浦郡勝浦町	すだち・ゆこう・ゆず
平成25年2月14日	有機農産物生産行程管理者	1件	鳴門市大津町	れんこん
平成25年2月28日	有機農産物生産行程管理者	1件	勝浦郡勝浦町	みかん、デコポン、はるみ、ゆず、たまみ、セトカ
平成25年3月5日	有機農産物生産行程管理者	1件	美馬市美馬町	キウイ

●有機判定委員会

平成24年度は次のとおり判定委員会を12回開催し、30件の判定を行いました。

年月日	種別及び件数	品目	場所
平成24年5月14日	有機農産物生産行程管理者1件	ゆず	徳島市「タウンホテル千代」
	有機加工食品生産行程管理者3件	そば米、そば粉、乾燥麴、粉末乾燥麴、α化米、こんにゃく	
平成24年7月5日	有機加工食品生産行程管理者1件	粉末納豆、乾燥納豆、焙煎納豆、桑の葉納豆	徳島市「タウンホテル千代」
	有機加工食品小分け業者1件	豆乳ティーバッグ、桑茶	
	有機農産物生産行程管理者1件	すだち	
平成24年8月25日	有機農産物生産行程管理者6件	ゆず、すだち、ゆこう、茶	徳島市「タウンホテル千代」
平成24年9月19日	有機加工食品生産行程管理者2件	すだち酢・ゆず酢・ゆこう酢及びその皮、晩茶	徳島市「タウンホテル千代」
平成24年10月11日	有機農産物生産行程管理者2件	レンコン、黒米、コシヒカリ、徳ばん、さといも	徳島市「タウンホテル千代」
平成24年11月22日	有機農産物生産行程管理者5件	ゆず、洋人参	徳島市「タウンホテル千代」
平成24年12月15日	有機加工食品生産行程管理者3件	すだち、ゆこう、ゆず清涼飲料、ノンジュース、ゆず酢、有機レモン果汁	徳島市「タウンホテル千代」
平成25年2月25日	有機農産物生産行程管理者2件	すだち、ゆこう、ゆず、米	徳島市「タウンホテル千代」
平成25年3月22日	有機農産物生産行程管理者3件	デコポン、はるみ、ゆず、たまみ、セトカ、レンコン、キウイフルーツ	徳島市「タウンホテル千代」

有機認定者一覧

■有機農産物

No.	生産者名	栽培地	農産物名	認定年月日	No.	生産者名	栽培地	農産物名	認定年月日
1	天田善信	美馬市	ゆず	14.11.28	7	井上武夫	美馬市	ゆず	16.6.15
2	美馬キウイ生産組合(4戸)	美馬市つるぎ町	キウイフルーツ	15.2.17	8	若宮重利	美馬市	ゆず	16.6.15
3	阪東農園	上勝町	すだち、ゆず、ゆこう、茶	15.9.12	9	久次米靖章	藍住町	洋人参	16.10.26
4	松家繁信	美馬市	ゆず	15.9.12	10	横手忠男	藍住町	洋人参	16.10.26
5	西村利治	美馬市	ゆず	15.9.12	11	松家安信	美馬市	ゆず	17.6.15
6	新居克之	阿南市	黒米、徳ばん、トマト	15.9.19	12	近藤龍一	美馬市	ゆず	17.8.9
					13	田中康啓	美馬市	すだち、ゆこう、ゆず	17.10.18

(4) 平成25年3月31日

No.	生産者名	栽培地	農産物名	認定年月日	No.	生産者名	栽培地	農産物名	認定年月日
14	藤本高次	美馬市	ゆず	17.10.18	18	宮田新二	勝浦町	デコボン、はるみ、ゆず、たまみ、セトカ	21. 2.20
15	(有)酒井農園	鳴門市	れんこん	17.11.21					
16	マルサカ有機生産組合	北島町	れんこん	18.11.29	19	里業ランド木頭	那賀町	ゆず	24. 5.17
17	小山恒夫	阿波市	米	21. 2.20	20	中谷秀久	神山町	すだち	24. 7. 6

■有機農産物加工食品

No.	製造業者名	製造地	加工食品名	認定年月日	No.	製造業者名	製造地	加工食品名	認定年月日
21	阪東食品	上勝町	すだち酢、ゆず酢、ゆこう酢、皮、晩茶	15. 9.18	25	(有)ハス商会	勝浦町	粉末納豆、乾燥納豆、焙煎納豆、桑の葉納豆	18. 7.26
22	野田ハニ一(株)食品工業	吉野川市	すだち・ゆこう・ゆず清涼飲料、ノニジュース	15. 9.18	26	片岡蒟蒻	つるぎ町	有機板こんにゃく、有機糸こんにゃく	19. 5.16
23	J A 美馬	美馬市	ゆず酢	15.11.10	27	徳島製麴(株)	阿波市	乾燥麴、粉末乾燥麴、α化米	20. 5.19
24	(株)谷食糧	石井町	そば米、そば粉	18. 3.31	28	徳島産業(株)	板野町	有機レモン果汁	20.12.19
					29	(株)阿波酢造	勝浦町	すだち酢	21. 9.15

■有機食品小分け

No.	小分け業者名	小分け地	小分け食品名	認定年月日
30	(有)ハス商会	勝浦町	有機豆乳ティーバッグ、桑茶	18. 8. 2

認定の技術的基準等改正の概要

有機農産物の日本農林規格（平成12年1月20日農林水産省告示第59号）及び有機加工食品の日本農林規格（平成12年1月20日農林水産省告示第60号）が平成24年3月28日に改正され、平成24年4月27日から施行されました。また、同日で認定の技術的基準及び生産行程についての検査方法が改正されましたのでその概要を紹介します。なお、JAS規格の改正については、前号の「とくしまオーガニック情報」で紹介していますのでご覧ください。

1 認定の技術的基準の改正概要

(1) 認定の技術的基準（平成24年4月27日改正・施行）

- ① 有機農産物及び有機飼料（調製又は選別の工程のみを経たものに限る。）生産行程管理者及び外国生産行程管理者の認定の技術的基準（平成17年11月25日農林水産省告示第1830号）
- ② 有機加工食品及び有機飼料（調製又は選別の工程以外の工程を経たものに限る。）についての生産行程管理者及び外国生産行程管理者の認定の技術的基準（平成17年11月25日農林水産省告示第1831号）

③ 有機農産物、有機加工食品、有機飼料及び有機畜産物についての小分け業者及び外国小分け業者の認定の技術的基準（平成17年11月25日農林水産省告示第1833号）

ア 「一」の生産及び保管に係る施設等の基準に「適切に清掃されていること。」が定められました。

イ 「二」の生産行程の管理又は把握の実施方法等に、内部規程に整備する事項として「苦情処理」に関する事項が追加されました。

2 有機農産物、有機加工食品、有機飼料及び有機畜産物の生産行程についての検査方法（平成17年12月22日農林水産省告示第1971号）

「二」の「有機農産物及び有機飼料（調整又は選別の工程のみを経たものに限る。）の生産行程についての検査」に生産行程の管理記録の事項について、種子等の使用量の管理が困難な場合があることから「購入量」による管理が認められました。

ISO / IEC 17065

ISO/IEC 17065：2012は適合性評価（製品、プロセス及びサービス）の認証を行う機関に対する国際的な要求事項で、ISO/IECガイド65：1996に代わり、平成24年9月15日から適用されました。

認証の最終的な目標は、全ての利害関係者に、適合性評価が規定要求事項を満たしているという信頼を与えることで、その価値は、規定要求事項を満たしていることに関する第三者の公平で力量のある実証によって確立される、確信及び信用の程度にあるとされています。

ISO/IEC 17065は、認証機関に対する能力、一貫性のある運営及び公平性に関する要求事項について規定しています。

当協会は、次の「認定に関する業務方針」と「公平性に関するコミットメント」を掲げています。

認定に関する業務方針

定款の定めるところにより、JAS法に基づく登録認定機関として登録され、認定に関する業務を行い、与えられた権限を適正に行使するとともに、本会が行うすべての認定に関する業務に責任を負う。

- 一 認定に係る業務を公平、公正、迅速に提供し、認定機関に課された責務を全うする。
- 二 認定の信頼性確保のため、業務遂行に必要な技術的能力の維持・向上に努める。
- 三 認定に関する業務で得られる情報についての機密保持並びに認定に関する業務の客観性及び公平性に関して他の業務部門からの影響の排除に責任をもつ。
- 四 JAS制度の適正な運営に寄与する。
- 五 本会は、認定に関する業務の結果を左右しかねないようなすべての営利目的、財政的、その他の圧力に影響されないようにする。

公平性のコミットメント

われわれはJAS法に基づく登録認定機関として、公平性で透明度の高い認定業務を提供することを重要な責務としています。

このため、われわれはJAS法令及び関連法令並びに国際的な規格に従って、公平性に対して影響を及ぼす利害関係を管理して、客観性のある認定業務を確実にを行います。

平成24年 9月

理事長 丸山 友良

事務所案内図



編 集 後 記

新たな政権下で、3月15日にTPP（環太平洋パートナーシップ協定）をアジア・太平洋の「未来の繁栄」の枠組みとし、交渉への参加を表明しました。日本の「農」を守り、「食」を守るため、所信どおりあらゆる努力をし、交渉に臨むことを期待します。

この1年を振り返りますと、平成24年4月に改正JAS規格の施行、認定の技術的基準の改正・施行、9月15日には、認証機関への要求事項であるISO/IEC17065が発行され、業務規程を初め認定業務に関する諸規程等の見直しに追われ、認証機関には、多忙な1年でした。また、皆様方には、これらに対応し、内部規程の見直しなどご苦勞があったものと推察致します。

今年は、26年5月8日までが有効期限（5年）の登録認定機関の更新手続きが始まります。

ISO/IEC17065の要求事項や改正JAS規格の中で、認定業務方針に則し公平かつ適正な認証業務を行ってまいりますので、今後とも皆様方の一層の御理解と御協力をお願いします。

事務局・本誌編集担当者 吉岡 廣美